

目指す学校像	規則と秩序があり、笑顔あふれる学校・学び合い、高め合う、活力ある学校・美しく整えられ、安全で潤いのある学校
--------	---

重点目標	1 児童の実態を把握し、情報端末を活用した学習と個別最適な学びの推進 2 児童・保護者に寄り添った教育相談体制の構築と安心・安全な学校づくりの推進 3 コミュニティ・スクールとして異校種間の連携強化と地域・保護者との協働の推進 4 教職員一人ひとりが力を発揮できる環境づくりと、ワンチームで対応できる組織力の構築
------	---

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学校自己評価								学校運営協議会による評価	
年度目標				年度評価				実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	〈現状〉 ○全国学力学習状況調査では、全国の平均値を下回っている。 ○日頃の学習では落ち着いて授業に参加し、意欲的に学習に取り組んでいる児童が多い。学校評価児童アンケート「学校の勉強は分かりやすく楽しい」の肯定的評価は74%である。	・「個別最適な学び」「協働的な学び」に向けたタブレット等を活用した授業改善 ・個々の課題把握を徹底し、個にあった課題に取り組めるような学習活動の工夫改善	①「学びのポイント(じしゃく)などを視点とした授業改善を行う。 ②オクリンクやムーブノートを活用した児童一人ひとりが活躍できる授業を実践する。 ③スタディアサプリやドリルパークを活用し、個々の習熟度を確認しながら、学習できる時間を確保する。	①タブレットを活用した授業実践・研究協議等を行い、授業力の向上に取り組んだか。 ②学校評価児童アンケート「学校の勉強は分かりやすく楽しい」の肯定的評価80%以上か。					
	〈課題〉 ○基礎学力の定着につながるような教師の指導力の向上、及び授業改善が課題である。 ○児童一人ひとりが自分の課題に向き合い、課題解決に向けて自ら進んで取り組めるようにすることが課題である。		①個々の学習課題の進捗状況をタブレットや面談等を活用して的確に把握し、児童と保護者に適切にフィードバックを行うようにする。 ②学習タイムを活用し、個々の課題に取り組めるようにするとともに、課題解決の進捗状況を担任と児童が共通理解できるようにする。	①タブレットを活用し、月1回程度個々の課題の進捗状況について確認を行い、面談等での確にフィードバックしたか。 ②学習タイムを活用して児童一人ひとりが課題設定し、自己の課題解決に向けて学習に取り組むことができたか。					
2	〈現状〉 ○学校評価児童アンケート「学校が楽しい」の肯定的評価は81%、「先生が悩みを聞いているか」の肯定的評価は89%である。 ○月1回の安全点検で出てきた修繕依頼や緊急時の対応等、もれなく対応した。	・面談シートを活用した学習課題の設定とコーチングを活用した面談の実施 ・美しく安全な教育環境の整備	①学期に1回の面談と週3回の学習タイムを活用して児童と面談を実施するとともに、学習課題や解決に向けてコーチングを取り入れた面談を実施する。 ②6月と11月に保護者と個人面談を行い、学校と家庭で児童の課題や成果等について共有し連携していく。 ③生徒指導・教育相談等で得られた情報を全教員で共通理解を図るとともに、迅速かつ組織的に対応する。	①児童一人ひとりの課題について、個人面談を通して保護者と共有するとともに、面談結果について面談シートに記録を確実に行ったか。 ②学校評価保護者アンケート「お子さんに応じたきめ細かな指導を受けている」の肯定的評価80%以上か。					
	〈課題〉 ○学習面や教育相談等で個々に寄り添った対応がより十分に行うことが課題である。 ○教育環境において、校内の美化に課題が見られた。		①月1回の安全点検を的確に行うとともに、点検時に上がってきた修繕等の報告について管理職や事務が早急に確認し、早期に対応する。 ②教育環境を整備と教材の充実のため全教職員による備品等の整理を行う。	①各学期末時点で、安全点検等で上がってきた修繕依頼等の未対応を0件にすることができたか。 ②学校評価「教育環境整備」に係る項目において肯定的評価80%以上か。					
3	〈現状〉 ○学校運営協議会において、学校・地域・保護者が連携して行う「城南フェス」の実行委員会を立ち上げた。 ○異校種間の交流で、保育園との学校図書館利用等を行うことができた。	・積極的な学校公開の推進 ・コミュニティ・スクールの核とした児童の健全育成の推進	①学校ホームページの定期的な更新を行い、来校できなくても児童の学習や生活の様子を把握できるようにする。 ②学校公開週間を学期に1回設け、全学年の授業や児童の活動の様子を見られるようにする。	①学校ホームページを更新し、学校からの情報を発信することができたか。 ②学校評価「学校公開等」に係る項目において肯定的評価80%以上か。					
	〈課題〉 ○「あいさつ」は引き続き取り組んでさらなる向上を目指すことと、地域に学校のことをより知ってもらうことが課題である。 ○中学校など異校種間での取組を今年度も継続して実施するとともに交流する校種を増やしていくことが課題である。		①学校運営協議会において「あいさつ」等向上するための熟議を継続し、取組を実施する。 ②実行委員会を中心として、学校・保護者・地域が連携した「城南フェス」を実施する。	①学校評価「あいさつ」に係る項目において肯定的評価75%以上か。 ②城南フェス実施後のアンケートで満足度70%以上か。					
4	〈現状〉 ○エバンジェリストを中心として、ほとんどの教職員が授業でタブレットを活用できた。 ○働き方改革を推進し、ペーパーレス化による会議時間の短縮等業務の見直し等を進め、時間外勤務時間の削減を進めることができた。	・校内研修等を活用した教職員の資質向上 ・組織的な働き方改革の推進	①学校課題研修や指導訪問、年次研修、初任者研修等を活用して、教員が学び合う機会を深化させる。 ②高学年完全教科担任制を継続し、専科教員を含めたブロック会議を週1回導入することで、児童対応や学年ブロックの行事等の業務を分担してチームで行えるようにする。 ③中・低学年でも専科教員の授業を入れることで空き時間を確保し、教材研究や事務処理の時間を設けることで働きやすい職場を推進していく。	①学校評価「教職員研修」「授業改善」において肯定的評価80%以上か。 ②全教職員の時間外勤務時間を年間360時間以内にする。					